

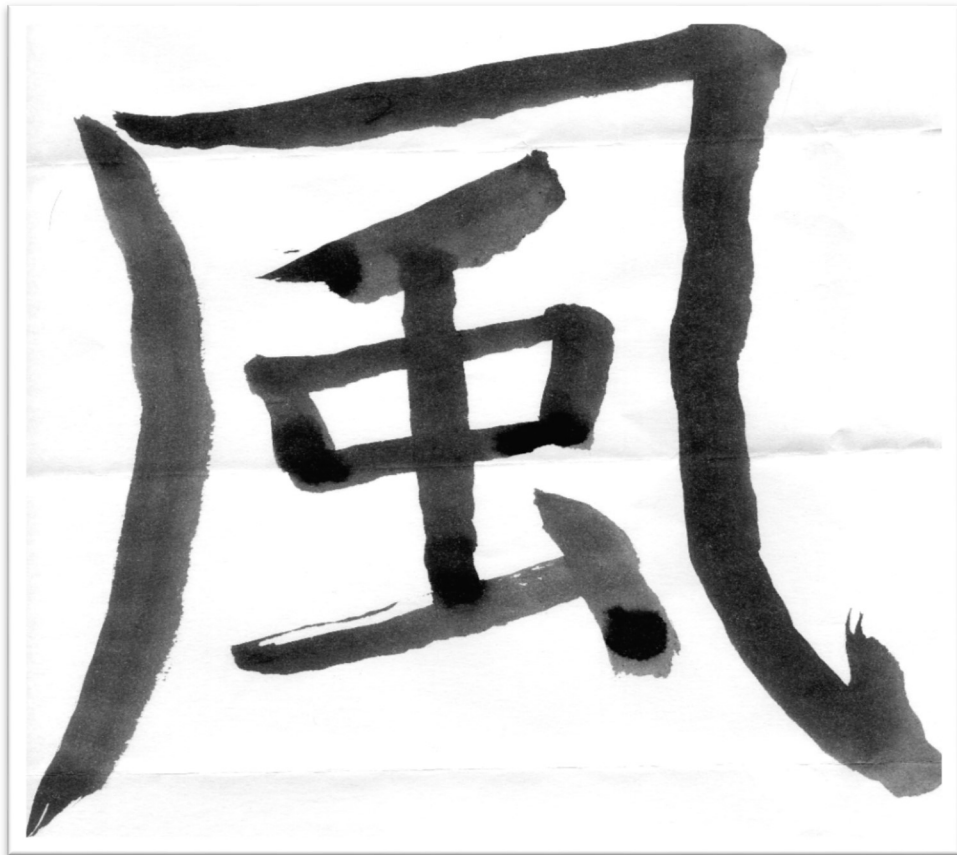
平成29年 9月 1日

父母の会だより

第35号

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

〈発行責任者〉 豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217
FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



『風』 中村 祐一

目次

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 父母の会行事 | 3. 愛肢連・全肢連行事 |
| ・第1回 Q&A 委員会.....1 | ・愛肢連定期総会.....12 |
| ・第2回 Q&A 委員会.....3 | ・東三ブロック療育訓練会.....13 |
| ・Q&A 委員会特別企画....6 | ・全肢連東海北陸大会.....14 |
| ・行政との座談会.....8 | 4. 善銀行事 |
| ・施設見学.....11 | ・善意フェスティバル.....15 |
| 2. 豊障連行事 | 5. 友だち紹介.....16 |
| ・第16回豊障連大会.....12 | 6. 今後の主な行事予定・あとがき..17 |

<https://fubonokai-toyohashi.com>

29年度 あゆみ学園Q&A 第1回目報告

平成29年5月17日実施

今回は1回目という事で、障害児を持つ先輩母5名を集め、あゆみ学園通園時代又は幼少期の様子と現在の様子を自己紹介形式でお話しさせていただきました。

これからあゆみ学園で母子通園を頑張ってもらうために前向きになるよう助言もさせていただきました。

本年度も5回Q&Aを開催します。

2回目以降は昨年同様各クラスでアンケートを取り、テーマを絞って行う予定です。

7月のあいトピアでのQ&A特別企画のお知らせと、父母の会のPRも同時にさせていただきました。

自己紹介後は質疑応答が活発に行われました。

〈小2男子 ゆり組 (ほいっふ) →豊橋特別支援学校〉 豊橋在住

染色体異常、気管切開、医療ケアあり、座位可能

〈中1男子 あゆみ学園→豊橋特別支援学校〉 蒲郡在住

あゆみ学園の時は四つ這いだったが小3より歩行ができるようになる。
現在は独歩できるも動き回って目が離せず大変。

〈小3男子 あゆみ学園→保育園→地域の肢体支援級〉 豊川在住

ダウン症、弱視

現在1日に5時間介助員が付き添い。

〈小6男子 あゆみ学園→豊橋特別支援学校〉 田原在住

重度の知的・肢体不自由あり、てんかん発作あり

〈中1男子 あゆみ学園→高山学園→豊橋特別支援学校〉 豊橋在住

ダウン症、独歩不可

Q1 豊橋特別支援学校での医療的ケアについて

A・現在7名の看護師がいるが、週1日くらいは親が付き添う事もある。

(ケア内容による)

- ・校外行事は看護師が同行しないため保護者がケアを行う。
- ・痰の吸引等スクールバス運行時に看護師によるケアが必要な児童はスクールバスに乗れない。
- ・毎朝検温や吸引器の状態の確認他、その日の体調等を看護師へ引き継ぐため、30分くらい学校にいる。(ケア内容による)
- ・帰日も15時までに保健室へ行き、看護師と1日の様子を引き継いでから帰宅。

Q2 幼稚園を決めた理由

A・保育園を希望したが受入れ不可能だった。平屋で探していたらその幼稚園はとても対応が良く、無条件で受入れてくれた。他にも障害児が2名いたが軽度のため、マンツーマンでみてくれた。

Q3 お風呂はどのようにいれていますか？

A1・まだ身長90cmくらいなので、赤ちゃんのように入れています。

A2・主人が入れているが、今後体が大きくなれば業者による入浴介助も考えている。

A3・小3より週三回入浴介助を依頼。座位は取れるため、福祉用お風呂チェアやベルトを利用している。

A4・立てるので一部介助程度で入れている。

Q4 あゆみ学園や、幼少期に頑張ったこと

A1・できる限り多くの言葉かけをした。口のマッサージを毎日した。

A2・下の子もいて、母子通園は大変だったが、母子通園だから小さな成長もみつけられてよかった。

A3・たくさん話しかけた。砂場や数珠玉遊びなど感触遊びを経験させてよかった。

A4・母子通園による母子コミュニケーションがいかに大切かが分かった。また、すぐに先生やお母さんへ不安なことが聞けて良かった。

A5・母子通園は楽しかった。あゆみ学園でのアドバイスはその後、いたるところで言われた。それだけ大切なことだと理解できる。

Q5 兄弟姉妹について

A1・高学年になるとあゆみ学園での行事にも来なくなったり、外で一緒に嫌がるが、家では優しい。思春期にはありがち。

A2・4つ上の姉は自分がしっかりしないと・・・と思っている。4つ下の弟も我慢している様子。男同士でライバル視しているが、障害について気にしている様子はない。

A3・8つ下の妹は、あゆみ学園の時は生まれていなかったの所以对一で母子通園を楽しめた。歳が離れているので一人っ子のような感覚。

下の子が年中の時友達を連れてきて、障害児を見て固まっていた時に、「ちゃんと挨拶しなさいよ！」と友人に言っていた。

A4・障害児以外の子とそれぞれ時間を大切にしていた。

Q6 兄弟姉妹の学校行事はどうしましたか？

A1・姉が連れてこないでと言うので、デイサービスやショートステイを利用して連れて行かない。

A2・障害児が小さいころはベビーカーで連れて行ったが、大きくなってからは業者に頼んでいる。

Q7 岡崎特別支援学校より豊橋特別支援学校を選んだ理由

A・岡崎は1年間バス通学ができないと言われた。また、あゆみ学園での友人も豊橋にはたくさんいたので。

平日のデイサービスは利用できないが土日は利用している。障害児がいるという理由で下の子は保育園入園可能。また、学童も可。

*最後に抱っこひもで買い物をする時に反り返って大変です。どうしていましたか？

の質問を頂き、「ネットスーパーや生協を利用してなるべくまとめ買いをする」とアドバイスはさせてもらったものの、急な時や足りないものが出て出なくてはいけない時もある現実に上手な答えが出せませんでした。

29年度 あゆみ学園Q&A 第2回目報告

平成29年7月12日実施

今回は、ひつじ組さんに事前アンケートをとり、「就園・就学について」の内容に絞り開催しました。中には医療的ケアを必要とする方もいらっしゃるということで、導尿のお子さんで保育園・小学校を経験されたお母さんにもご参加いただきました。それぞれの経験を交えて自己紹介後、質疑応答をさせていただきました。

.....

＜地域小学校 4年生男子＞

左腕のマヒがあり、日常生活は右手で行っている。
あゆみ学園では外来保育のみで母子通園経験はなし。姉が保育園に通っていたので、顔は通じていた。未満児での入園でとの話が進み、10月には入園のOKが出ていた。
年長の6月から小学校への体験に行かせて、学校ではどんな形での生活になるのか？様々な体験をし、2月からは通学班の後ろからついていき、通学の練習も毎朝行った。

＜豊橋特支 高等部2年男子＞

小児交互性片麻痺。あゆみ学園に2年間母子通園、発話がある子だったので言葉の育みのためにも保育園を勧められた。当時は歩行器での歩行は可能だった。
保育園リストの片っ端から電話をし、2園のみだけが手ごたえがあったが、ひとつは入園児が園に慣れて落ち着いて来た頃の夏休み明けからの入園ならOKとのことだったため、もうひとつの加配なしでも職員に余裕があるためOKとの返事をもらえた園に決めた。（田舎の小さな保育園）その後地元の小学校に行き、中学からは豊橋特支に行っている。

＜豊橋特支 中学部3年女子＞

てんかん発作と知的障害。弟の出産もあり保育園に行っていた時期もあったが、大きな発作が起きるようになったので、くすのき学園に2年半通園。その後はまだ身辺自立がなかったため高山学園に1年通園後、豊橋特支小学部に入学。知的障害なので豊川特支にも見学等に行ったが、体力があり活発な生徒が多いため、豊橋の方を勧められた。やはり入学してみて豊橋の方が合っていたと思う。

＜地域小学校 1年女子＞

10番染色体異常。生後2か月～10か月は経管栄養だった。膀胱尿管逆流症による尿路感染症を起こしたこともあり3時間ごとの導尿もあった。その後バルーンカテーテルに。現在は自力排便・排尿も可能だが排尿については完全ではないため導尿でのフォローもあり。あゆみ学園入園後歩行ができ、自閉的傾向もあったため翌年からくすのき学園に2年通園。高山にも1年行きその後少人数制の認可外保育施設へ。今年から地域の小学校。

＜豊橋特支 中学部1年男子＞

二分脊椎のため、1歳半から4歳まであゆみ学園に。その後は保育園に。
小学校は校区外に通っていたが、特別支援学級の教員の質などを考え豊橋特支に行くことにした。小さいころから自己導尿を覚えさせた。現在毎日徒歩（クラッチ使用）とバスを使った自力通学をしている。

＜地域小学校 6年生女子＞

二分脊椎。年少より一年間あゆみ学園に、4歳で歩行ができ、保育園に。保育園は校区外で小学校は地元に進んだため、顔見知りの子どもがおらずとまどった。が、慣れてきたら子供たちが自発的に助けてくれるようになってくれた。中学からは卒業後の就労等の事も考慮し、支援体制のできている特別支援学校に行かせようと思っている。

＜地域小学校 3年生男子＞

3C症候群（心臓、小脳、頭蓋骨の頭文字「C」を取った病名）

あゆみ学園には2年通い、校区外の幼稚園へ。その後地域の小学校へ通っているが、介助員がついているのでかなり手厚い。

Q1. →学校への見学などはいつ？

A1⇒①豊橋特支に年中で行き、同時ににじの子相談へ。年長の春で地域の学校へ行った。

あまり早く行き過ぎても、入学時の状況がわからないのと断られることもある。

②年中の冬にくすのき特支に行った。どこの学校も春の運動会までと夏休み以降もいそがしいため、運動会から夏休み前がベストな時期だと聞いたことがある。

③年中で行き入学OKをもらっていたが、翌年行ったら校長が変わっていてNGだった。

④肢体の子どもについては、バリアフリー化工事が必要な場合も多いため、その予算立てのため、入学前年には改修の必要があり、それまでに予算がでていないといけないため、年中で相談に行き、バリアフリーについては保護者も一緒に考えさせてもらった。

⑤豊川には「学校の日」という誰でも行ける日が年に3回ほどあり、その開催日に行き、コーディネーターの先生が対応してくれた。年長では運動会に行き、その後何度か連れて行った。

※夏目先生より⇒学校には教務主任・校務主任だったり支援級の主任の先生だったり・・・どなたかがコーディネーターという役割でいらっしゃいます。最初に学校に相談する場合は「コーディネーター」の先生を訪ねていくといいと思います。

Q2. →二分脊椎の子のお母さんへの質問・・・うちの子も「二分脊椎」なのですが、地域の小学校に行っていたのに中学からは特別支援学校に変わろうと思ったのですか？

A2. ⇒①支援級の担当の先生があまりいいと思えなかったため・・・。

②体力がなく、中学校の建物などの環境の問題、勉強も差が出てきてしまい、将来学校を卒業してからの就職の事などを考えた結果、支援学校を選択した。

就労支援に慣れている学校で適切な教育を受けさせた方が将来のためだと思った。

Q3. →地域の学校でのケアはどうでしたか？

A3. ⇒①学校入学前までに自己導尿を覚えさせた。

②保育園から小3までは母親が時間ごとに通ったが、それ以降は自己導尿。

Q4. →通学はどうしていましたか？

A4. ⇒①分団登校のため、車椅子で母親が同行しました。が、一緒の学校に兄が通っており、車椅子は兄の同級生が押してくれるようになり、一緒の学校を嫌がっていた兄はそれを見て、「自分の弟だから、僕が車椅子を押す！」と言ってくれた。

②朝は車で連れて行く、帰りは付添で徒歩にて下校しているが、ペースはゆっくり。

③朝は車で送っていたが、帰りはデイを利用していた。今は特支に変わり、自宅からバスで西駅に、西駅から表駅まで歩いて渡り、またバスに乗ってあゆみ学園前の停留所で下車後学校ま

で徒歩という形で自力通学をさせている。

④1年間は車で通ったが、2年目以降は母が付添で徒歩通学している。

Q5. →高山学園はどんな感じでしたか？また友達同士のかかわり方はどうですか？

A5. ⇒①母子通園と単独通園とでは時間の流れが違う。やはり単独になりとても楽になったので高山の時代はほんとうに時間の経過が早かったように感じる。山間にあるので、とにかく運動重視で毎日山へ散歩するのでとても体力がついたと思う。自然環境に恵まれていて、今は建て替えられきれいになったのでとてもいいところだと思う。

うちのクラスはお友達とはあまり関わり合える子がなくて、対先生という感じだった。

②プール等も結構深くてしっかりと訓練してもらえる。山の散歩は個々の体力・能力に応じて決めてくれるため、歩行器で行ける子にはそのように・・・、山を登ってさらに超えられる子はしっかりと歩かせてくれた。バス通園可能だがコースがいろいろあるのでその年の居住地でコースが変わってくる。単独通園ではあるが、保護者会や勉強会など月に1回は親も行くことがある。

肢体中心のクラスや軽めの子のクラスの場合は話せるこどもも多少いるので関わり合いはあったように思う。がやはり保育園ほどの刺激はないかも。

Q6. →保育園入園時、おむつは取れていましたか？

A6. ⇒取れてなくても入れないとも限らない。園によって対応はそれぞれ。

Q7. →母子通園のうちに頑張っておくべきことがあれば教えて下さい。

A7. ⇒①トイレ・食事等本人なりにできることを増やしてあげておけば選択肢は広がると思います。目標をしっかりと立て頑張っておけばそれが将来につながります。

②椅子に座って待つことができるといいと思います。

食事も椅子に座って食べることができなくて、保育園を落ちた子もいます。

③くすのき学園や保育園よりも高山学園はおむつを外すことをがむしゃらに頑張る感じではないので、放っておくとおむつのままのんびりしたままになってしまう傾向があります。おむつを外したいと目標にあるのなら、高山学園に入園する前に頑張っておくほうがいいと思います。

④本人がなんでもできるように・・・とか、これはできない・・・という判断ではなく、このままではできないが、やり方を変えたらできるかもしれない、道具を使えばできる・・・等工夫の仕方をあゆみの先生方と相談しながらひとつでも多く見つけてあげてください。保育園でもそれをうまく取り入れて行って下さりできることが増えると思います。

以上

次回は9月13日（水）に開催します。

父母の会Q & A特別企画 成長過程における支援編 報告

平成 29 年 7 月 1 日実施
(於：あいトピア)

今回は、豊橋市医師会訪問看護ステーションさん、江崎病院さん、居宅介護事業所より、すたあとさん、豊川ほっとケアネットさん、しろがねさん、明日香さんの7名をアドバイザーとして迎え、日頃ご家族がお子さんの支援をする中で困っている事や心配事、介助の方法などについて実演を交えたアドバイスをいただきながら、進めて行きました。

今回参加されたご家族の多くが、日々成長していくお子さんを介助する事による腰痛など体の負担の悩みを抱えており、それに対するのアドバイスが中心となりました。

中神会長も参加され、和やかな雰囲気の中、会が進められました。

以下が参加者の内訳です。

- ・豊橋特別支援学校小学部 6名
- ・豊橋特別支援学校中学部 2名
- ・豊橋特別支援学校高等部 3名
- ・地域の小学校2年生 1名
- ・18歳以上 2名



①抱き抱えについて

- A. ・子供が成長し活動量・運動量は減っていくが食事量は減らない上に親は衰える。
・親がリラックスして介助すれば子供もリラックスできるが、親が頑張らないといけないスタイルで介助すると、子供も不安になり暴れたりしてしまう。
・基本的に、抱える・持ち上げる動作は腰に負担がかかりやすいためなるべく子供を自分の体に近づけるとよい。離して介助しようとする、腰を痛める。
・上半身がしっかりしているのなら、少し頭を下げて、お尻を上げる。

Q. 子供が横抱きを嫌がり、反ってしまう。

- A. ・首・脇・肩甲骨を保持する。

Q. 体が大きくなり抱っこは不可能で、後ろから脇で支える介助をしている。

- A. ・腰を痛めてからでは遅いので、介助する時は腰ベルト(ゴム製・薬局で¥2000~3000 弱)を使うとよい。
・ベルトを締めることにより、骨盤の動きが固定される。ずれない。
・腹筋の代わりになる。
・介助の都度、締めるようにするとよい。
・歩行困難な場合は、床の上での移動を助けてくれるシートが福祉用具であるのでそれを使うことをお勧めする。

②入浴介助について

- A. ・イスに座らせた状態で平行移動して、浴槽に入れる。
・シャワーチェアなど、体が直接接触れるものは貸出不可が原則であるが、中にはお試しで貸してくれる事業所もある。
・もっと福祉用具を活用してもよい。
・名古屋にある福祉用具プラザで体験できる。
・相談員などに、実際に浴室を見てもらい、どんな福祉用具を使ったらよいのか聞いてから使うとよい。

- ・ヘルパーやショートステイを利用して、どのように介助しているかを見るのもよい。
- ・できる間は自分でやろうとしてしまいがちだが、いずれ介護できなくなる時が来るので、その事も考えて。
- ・ヘルパー1人での介助は難しいため、2人介助をお願いしている。
- ・福祉用具も使っている。

Q. 浴室の外の音が怖く、1人で浴室にいられない。

- A. ・家族が付きっきりで時間を取れない事もあるので、ヘルパーを利用してみるとよいかもしれない。
- ・豊橋市には現在ありませんが、入浴サービスを行う放課後デイサービスもあるそうなので、機会があれば利用してみてもどうか。

③車椅子への移乗について

Q. 自我が強くなり、行く場所やタイミングによっては車椅子に乗ることを抵抗して、母親一人の力ではとても乗せることができない。

- A. 心の問題が大きいと思う。例えばお子さんの好きなものを車椅子に置くなど気持ちの切り替えがしやすいような工夫が必要かと思われる。

④その他

*本人はもうずっと入院していて、体勢移動などを今までは病院に任せていたが、自分も勉強したいと思っているのでいろいろと教わりたい。家族にしか分からない本人の反応や訴えをもう少し病院のスタッフさんにも分かってもらえるように自分も勉強したい。

*発作の薬を減らすことになり、今まで一人で入浴できていたのが、入浴中に発作が出る可能性があり安全面で心配になった。との意見もありました。

最後に中神会長より「今日の話聞いていて、お母さん方の思いはこんなにもあるということを改めて痛感した。皆さんの声が一番行政にも響くのでどんどん声をあげてもらいたい。会長まで言ってもらえれば、届けるべき場所に届けさせてもらうから、これから一人でやろうとせずに相談してほしい。」とお言葉を頂きました。

今回初めての、アドバイザーの方も一緒になって行う「成長過程における児童支援」の座談会でした。アドバイスして頂いたことを実践していきながら、次回に繋げていけたらと思っております。

行政との座談会

行政との座談会、勉強会を7/22日、障害福祉課の大野課長をお迎えし、さくらピアで行いましたのでその内容をご報告します。(会員総勢 19 名出席) なお、今回は意見交換会・勉強会として開催したもので、要望ではありませんので申し添えます。

< 要望・質問事項等 > 順不同

○豊橋市としての重点福祉施策 . . . 特に力を入れているものがあれば教えていただきたいと思います。

⇒障害者雇用の推進。特に市役所内の障害者ワークステーション「わくわく」で、職員体制を強化しその充実を図っている。

○障害者マークの駐車場に一般の人が駐車しない等、弱者に優しい思いやりのあるモデル都市作り運動を展開出来ないか。

⇒静岡市で、障害者駐車場に一般の人が停車しない独自の駐車券を発行し、それ相応の実績を上げていると聞いたことがあるが、個人としても障害児者団体としても、世間一般の人たちに理解をってもらう様にこれからも努めていこう。(中神)

(車いすマークや高齢者マーク等が 100 均で手軽に手に入るのも問題である)

○医療的ケア関連

- ・医療的ケアの必要な人たちのショートステイの新增設の計画、見込みについて教えていただきたい。また市民病院、珠藻荘、シーサイド吉前、医療センター等の対応見込みはいかがでしょうか。
⇒各施設にいろいろ働きかけをしているが、看護師の確保等が難しく現状進展していない。(中神)
⇒「ふたば」等を含め施設で申請していただければ前向きに対処していきたい。
- ・児童発達支援や放課後等デイサービス、日中一時支援事業の設置・増設をお願いします。また、給付金の増額をお願いいたします。
⇒事業所の整備については国の補助金を活用し、採択に向けた国庫協議を行ってきたい。
- ・特別支援学校で医療的ケアが必要な場合、送迎や遠足等学校外行事に親が付き添わなくても対応できるようにして欲しい。また、介護職員等が医療的ケアに対応できる制度について、特別支援学校教師も出来るようにお願いします。
⇒現在、県を中心に関係機関で検討されているが、吸痰の必要な時に車を停車しなければならない等、問題が多く進展していないのが現状であるが、引き続き県に要望していきたい。(中神)
- ・介護職、ヘルパー等が一定の研修後、吸痰等の医療的ケアに対応できる制度が出来て 4 年になります。29 年度に研修費用の約半額 8 万円の補助金が助成されるようになり、深く感謝申し上げます。ただ対象がヘルパー事業所になっていて、生活介護事業所職員等は対象外となっています。生活介護事業所職員も前向きに対応したい意欲のある方も多く、たんの吸引の取扱いができる介護職等の底上げを図る上でも研修補助金の対象事業所拡充は必要であると思っておりますので見直しをお願いします。
⇒ 8 万円の補助金は今年度から始まったばかりであり、様子をみながら生活介護事業所にも広げていきたい。

○市民病院のトイレに大人用ベッドを設置して下さい。

- ・トイレに大人用サイズのベッドを設置して下さい。赤ちゃん用サイズではおむつ替えや導尿が出来ず困っています。以前要望した時に、3 階の多目的トイレにストレッチャーを搬入して利用、または各科で借りるというお話でしたが、診察が終わった後や混雑時などはとても頼みにくいのでよろしくお願いたします。

⇒あまり遠慮せずに声掛けをしていただきたい。

- ・大人用ベッド等でお困りの方は声をかけて下さいという看板表示はどうか。
⇒市民病院に伝えたい。

○重心の重度訪問介護利用者以外が入院した場合、馴染みのヘルパーさん等の付添い明確化のお願い

- ・障害者総合支援法の3年後の見直しで、平成30年4月から重度訪問介護利用者が入院した場合、馴染みのヘルパーさん等の付添いが可能となりますが（詳細は今年8月頃明示される予定）、利用していない場合は28年6月に明確された「意思疎通支援事業」（意思疎通が十分ではない、重心や難病、知的、発達障害等も利用可能となっている）を利用し馴染みのヘルパーさん等の付添い利用が可能であることを明確化していただきたい。
⇒見直しの具体策が明示されればはっきりするが、厚労省のヒアリングでは認められるという感じであり、よろしく願いいたします。（中神）

○移動支援事業について

- ・身体障害者手帳所持者の移動支援利用対象者は体幹1・2級、下肢1級となっていますが、知的、精神には条件がなく手帳があれば誰でも利用できます。身障手帳所持者も全員利用できるように対象者拡大を是非お願いいたします。
- ・通園、通学、通院等にも利用できるようにお願いいたします。現在家族の入院等已む得ない場合は利用可となっていますが、入院してからでは現実として利用できませんのでお願いします。
⇒移動支援事業については、自立支援協議会で検討の結果、27年から対象者を拡大しており、今後とも協議会等で検討し意見を集約して行って欲しい。

○日常生活用品「おむつ」の支給内容の変更のお願い（今年度要望項目）

- ・現在おむつ補助金の支給は年間144千円まで可能となっているが、その範囲内で「おしりふき」も支給出来るようにして欲しい。大人と乳幼児ではサイズや一日の必要枚数が違い、大人は基準額では不足がちであるが、乳幼児は余裕含みである。乳幼児のおしりふきはおむつ交換時等利用頻度が高く、おむつと同様に支給できるようにしていただきたい。豊川市は同様の取扱が可能となっています。
⇒意見として、他市では、補助金の範囲内でビニール手袋やゴミ袋等も支給されている所もある。業者が指定されているという事もあると考えられるが、是非弾力的に運用願いたい。（中神）

○あいトピアの福祉機器展示コーナーの再開のお願い（今年度要望項目）

- ・あいトピアの福祉機器展示及び相談コーナーが廃止されとても残念に思います。存在自体があまり知られていなかった事もあったと思いますが、身体障害児者にとって成長とともに身体の補助具はいろいろ変わってきますし、子どもたちの可能性を育むためには、いろいろな福祉機器や住宅改修方法を参考にしてお子に合った日常生活用具や住宅改修を決めていきたいと思っております。豊橋には福祉機器が展示されている所がありません。福祉の中核の一つであるあいトピアでは是非福祉機器展示の再開と福祉用具専門相談員や福祉住環境コーディネーター等専門員の配置をしていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。
⇒今まであった福祉機器展示コーナーは来店客も少なく（平均：一日3人程度）、あまり活用されていた様子ではない。県内では高浜市が設置しているだけで、名古屋で毎年開催されている福祉機器展（以前と展示物が変わって来ていてあまり参考にならない様子）がある。今後の動向に注視していきたい。

○アクアリーナ豊橋の入場料について障害児者及び見守りの場合の減免制度創設のお願い （今年度要望項目）

- ・障害児者がアクアリーナ豊橋を利用する場合、減免制度がないので利用しづらい状況である。是非減免制度を作って欲しい。豊橋市内のプール・りすば豊橋では障害児者は半額減額となっていますのでよろしく願いいたします。また、付添いで入場し、見守りと介助のみでプールに入らない場合は実際にプールを利用しないので減免を検討していただきたい。
⇒アクアリーナ豊橋はスポーツ施設であり、減免制度はない。ただし水着に着替えなくてプール室に入る場合は無料としている。

⇒豊川市等はスポーツ施設でも減免制度あり。是非検討願いたい。

○子どもたちの「地域包括ケアシステム」の構築のお願い（今年度要望項目）

- ・現在、相談体制は相談支援専門員等によるサービス等利用計画作成による自立支援相談が主になっていると思われるが、相談支援員不足等により十分な相談体制はできていないと考えられる。特に重心の子どもたちの自立等将来の事を考えた場合、医療、福祉、保健、学校等関係機関が連携して地域で生き生きとリズムのある日常生活を送れる体制を作っていく事は重要と考える。介護保険ではケアマネージャーを中心に「地域包括ケアシステム」が果たしている役割は大きいと思われるが、子どもに対する関係機関の連携はまだ十分ではないと思料する。

⇒子どもの一生を考えて対処してくれるソーシャルワーカーの立場の人が重要であり、特に医療的ケアのある子どもたちについては医療ソーシャルワーカーが果たす役割が大きくなる。そういった動きが少しずつ出て来ているので今後注視していきたい。（中神）

○学校卒業後の受入れ体制（生活介護事業）について

- ・今後とも多くの卒業生が見込まれる中、身体障害者の通所場所が少なく学校卒業後に行けるところがあるかどうかとても心配である。学校卒業後、在宅で過ごすことの無い体制整備を是非願いたい。

⇒卒後の受入体制は重要であり、身体施設のについても地域で過ごせるように体制整備を今後ともやっていきたい。

○身体障害者の自立支援施設としてのグループホームおよび親の高齢化や親なき後等を考えた場合の現状と今後の見込みを教えてください。

⇒自立支援施設としてのグループホームは身体でも増えて来ており、今後とも支援をしていきたい。

○福祉タクシー助成の増額をお願い（今年度要望項目）

- ・福祉タクシーは現在年間1万5千円助成されているが、介護タクシーを利用しても数回、1～2ヶ月で使い切ってしまうとても足りない状況である。助成額の増額を是非願います。

⇒福祉タクシー助成の利用率は現在6割であり、財政の厳しい折、増額は難しい情勢である。

○防災関連

- ・福祉避難所として現在10施設が指定されているが、災害時、受入可能協定を締結している入所および通所施設の現状と今後の見込みについて教えて欲しい。

⇒現在協定締結施設は37施設538名で、障害者施設は10施設、高齢者施設が27施設となっている。

今後についても締結施設を増やしていきたいと考えている。

- ・災害時避難行動要支援者支援事業の事前登録制度は各種手帳等所持者で自ら避難することが困難で、避難にあたり家族等の協力が得られない方が対象になっていますが、重心の子どもと母親等の場合も状況により登録可能と思料されます。また、第一次避難所に避難できない場合、自宅や車に避難していても避難所に届け出ることによって救援物資が支給されることを知らない方が多いと思われるので是非広報等でPRをお願いします。

⇒災害時の情報については、今後ともいろいろな媒体を使ってPRしていきたい。

○追加項目

- ・自立支援協議会の議事録をHPに掲載して欲しい。また、協議会メンバーに当事者・家族等を入れ生の声を聞くようにしてほしい。

⇒28年度に要望した項目で、回答は速やかに議事録を掲載するように努めていきます。となっています。また障害児者については、豊障連が団体の代表として参加している。豊障連で調整して関係のある団体が参加するようにしているが、意見反映が十分ではないところもあり、豊障連でもう少し意見を交換したい。（中神）

施設見学

平成 29 年 6 月 28 日実施

本年度の施設見学は小雨の中、出発。参加者は 20 人で豊橋市役所障害福祉課の安田さんに同行していただき賑やかに開催しました。見学施設は 3 ヶ所で高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」、多機能型事業所 授産所「ふくふく」、障害者支援施設「シーサイド吉前」です。

最初の見学先の「笑い太鼓」では高次脳機能障害の症状から自立に向けた支援まで大変わかりやすく教えていただき、勉強になりました。就労支援の一環として、卵の包装・販売、大判焼きや団子が売っている「太鼓茶屋」、お墓参りや網戸張替えなどのお手伝いをしてくれる「笑う便利屋」も地域の理解を深め、主体性を伸ばす事を目的として活動されています。

次の行き先の「ふくふく」では療育棟と作業棟を見学。療育棟は平成 27 年 5 月に開所。天井が高く広さもあり、利用者さんもゆったりと過ごせそうです。作業棟ではクッキー作り、さをり織り、縫製作業等を見学。さをり織りは色鮮やかで、とても綺麗でした。

お昼は、あいトピア内にある「路面電車」で食事。その後、「シーサイド吉前」へと向かいました。「シーサイド吉前」でも施設内を詳しく案内していただきました。浴室では特殊浴槽と一般浴槽があり利用者さんに応じて使い分け、安全に気分よく使用できるよう工夫がなされていました。入所の個室にあるタンスなどの家具はホルムアルデヒドを含んでいない建材が使用されていて感心しました。

帰路につく頃には雨もやみ、集合した豊橋市役所に和やかに到着できました。
3 施設とも忙しいところ大変丁寧に案内していただき、本当にありがとうございます。



愛肢連『定期総会』開催報告

さる6月3日(土)春日井市総合福祉センターにおいて、平成29年度定期総会が開催されました。総会は会員約180名が参加し、中神会長の挨拶のあと顕彰に移り、豊橋からは自立支援表彰として山本恵梨さん、土屋美織さん、石田準さんに表彰状と記念品が贈られました。受賞誠にありがとうございます。

その後、知事代理としてご臨席の県障害福祉課・植羅課長様、春日井市・伊藤市長様等のご挨拶と激励のお言葉を頂戴すると共に、17名のご来賓の皆様をお迎えして盛大に開催されました。

ご来賓退席の後、会長を議長として議事に入り、28年度の事業報告・決算ならびに監査報告、29年度の役員紹介、運動方針案、事業計画案ならびに予算案がそれぞれ承認されました。

第2部は記念講演として、ソフトバンク(株)法人第8営業部・水谷有里氏を講師としてお招きし『共生ロボットと福祉との関わり』について映像を交えてお話して下さいました。テーマでもある共生ロボットのペッパーくんも来場してくれ、子供たちもペッパー君のAKBのダンス披露に大盛り上がりでした。一緒に記念撮影をしたりして参加した子供たちも楽しめる記念講演となりました。

みなさまのお蔭で総会も盛大に無事終えることが出来ました。ご協力本当にありがとうございました。



ペッパー君と記念撮影 定期総会にて

第16回豊障連大会

平成29年6月17日 あいトピア

第16回豊障連大会が6月17日にあいトピア3階多目的ホールで、多くのご来賓と豊障連各団体の会員約120名が出席し盛大に開催されました。

豊障連・山下会長の挨拶に続いて感謝状の贈呈があり、毎年諸行事でボランティアとして協力していただいている豊橋市立青陵中学校の皆さんに感謝状が贈呈されました。引き続きご来賓の方々のご祝辞、ご来賓紹介へとすすみました。

評議員会報告が山下会長からあり、その後記念講演が行われた。今年は義足のスノーボーダー・鈴木隆太氏から「左足を無くして出来ない事は確かにあるが、それよりも出来る事を探した方が楽しい。チャレンジする気持ちを伝えていきたい」というお話があり、豊障連大会は終了しました。

東三河ブロック療育訓練会

(於 グリーンホテル三ヶ根 2017. 7. 23～24)

毎年開催している療育訓練会、今年は76人が参加されました。ボランティアさんにお手伝い頂き大浴場での入浴、親子で参加する研修会「大災害!!そのとき役立つ智慧袋」、大広間での夕食をかねての懇親会、ここでは自慢ののどを披露して盛り上がるカラオケ、翌日の朝は「のんほい体操」で朝のすがすがしい空気をいっぱい吸い込んで一日のスタートに備えます。周辺散策後、お膳での豪華な朝食で、すべてのスケジュール終了となりますが、まだまだホテル内のプールを楽しみにしている子供さんもいて、2日間たっぷり楽しんでまた来年の再開を約束されながら帰途につかれます。

来年またお会いいたしましょう!

文責 鈴木 智江子

<感想文>

池田 照文

7月23日に妻と母と参加しました。防災について勉強した後、楽しみにしていた夕食です。食べるものがたくさんあり、大好きなカラオケもでき、とても良かったです。
このグリーンホテル三ヶ根に毎年出かけることが家族の夏休みの行事になっています。

記入者名	金田大光軍
感想文	
入浴訓練会に参加しました。僕は父と一緒に入浴しました。親子石鹸作りも楽しかったです。防災の事を学びました。懇親会の際には、お膳で夕食を食べる前に僕はセリアも言いました。(南会のことば)	

東海北陸「静岡大会」開催報告

(6月17～18(土日) 於：ホテルコンコルド浜松)

東海北陸大会は、例年貸切の福祉バスを利用し大会会場に向かう所、今年は会場が浜松市ということで各自現地集合となり29名が参加しました。静岡県肢連大石会長、全肢連清水会長の挨拶のあとご来賓よりご祝辞をいただきました。大石会長のご挨拶の時には、浜松市のゆるキャラ「いえやすくん」も登壇し注目を浴びていました。次回開催県、三重県肢連の鈴木会長の挨拶で第一部が終了です。

第二部のパネルディスカッションでは、全肢連上野常務がコーディネーターを務められ、浜松市発達医療総合福祉センター 副センター長・遠藤雄策氏による「重心の子ども立の在宅医療これまでとこれから」について、また社会福祉法人天竜厚生会理事長山本たつ子氏より「天竜厚生会の障がい児者支援 65年間のあゆみ、現在の取り組み」についてのお話がありました。

お二人のお話の中で共通していたのは現在全国的に課題となっている、障害児者の「地域包括ケアシステム」の確立についてです。住み慣れた地域で医療・教育・福祉の連携がとられれば本人も家族も安心して暮らしていけます。在宅医療を必要とする重症心身障害児者が「地域包括ケアシステム」の輪の中心に入ることが可能になれば、災害時においても連携が図られることとなります。浜松市の浜北区 於呂から天竜区渡ヶ島にまたがるエリアでは「医療」「教育」「福祉」の施設が隣接している全国的にも珍しい特徴を持っているとのこと。すべてが居住地区内に揃っていることは難しいため、モデルケースを参考にどの地域においても、「地域包括ケアシステム」を早く確立させ、マンパワーでの連携が図られるようになることを期待します。

第三部では社会福祉法人ふじの郷さつき学園・園長小林不二也氏より「障害児者を持つ親とその本人の自立について」、浜松協働学舎企画相談室長高木誠一氏より「成年後見制度について」、聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 教授田島明子氏より「障害の受容の再考について」それぞれご講演をいただきました。

情報交換会ではアトラクションとして浜松まつりで有名な東伊場凧揚げ会による「お練り」が会場内を巡り、全肢連会長に特製の「全肢連凧」が寄贈されました。にぎやかなお練りにびっくりするこどもや一緒に掛け声をかける人たちもいてにぎやかな楽しいイベントでした

大河ドラマ直虎で盛り上がった浜松での開催となり、翌日は大河ドラマ館に寄られるかたや、浜松城公園の散策等を楽しんだ方もいらっしゃいました。



『善意フェスティバル 2017』

平成 29 年 5 月 28 日 (日)
豊橋総合動植物公園

「善意フェスティバル 2017」が豊橋総合動植物公園にて開催されました。当日は好天に恵まれ、多くの方々に参加していただきました。

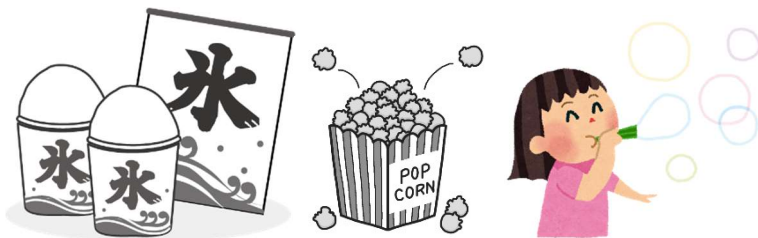
野外コロシウムでの始めの会では水野善銀理事長、佐原豊橋市長の挨拶のあと、車椅子・知的障害者介助についてのアドバイスがありました。

始めの会終了後は障害児・者 1 人に 2~3 人の高校生のボランティアさんが付き添い、憩いの広場で楽しいゲームにチャレンジしました。1 円玉落とし、テープで遊ぼう！、空き缶積み、グランドゴルフ、シャボン玉など工夫を凝らしたゲームがたくさんありました。スタンプラリーも行われ、スタンプを集めるとお菓子と交換でき、大変楽しめました。

そして、今年も綿菓子、かき氷、ポップコーン、みたらし団子、つくたてのお餅は大人気。お餅のコーナーでは、餅つきを体験することもできました。

一方、野外コロシアムのステージでは軽音楽、舞踊、アロハ、カラオケ、吹奏楽、マーチングバンドの熱演、熱唱がありました。

大変明るく活気のあるフェスティバルになり、藤の花女子高校をはじめ高校生のボランティアさん、団体、企業、個人のボランティアの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



豊橋善意銀フェス盛況

豊橋善意銀行は二十一日のほか、手作りの八日、豊橋市大岩町のゲームコーナーの出店豊橋総合動植物公園でにぎわった。市内を「善意フェスティバル」中心に企業や高校、福祉施設などから二千三百五十人が参加した。援の心を持つ人との交流を目的に毎年企画しており、今年で三十五回目。

藤の花女子高校(同市老松町)のマーチングバンド部「レッドペッパーズ」によるステージパフォーマンス(阿部竹虎)

踊りを披露するレッドペッパーズ＝豊橋市大岩町の豊橋総合動植物公園で

中日新聞 平成 29 年 5 月 31 日より

友だち紹介

No. 15



中林 咲貴
(なかばやし さき)

【通学・通所施設名
学年、年齢等】

豊橋特別支援学校
高等部 2年

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
絵を描くこと、工作、DVD鑑賞、ダンス

【趣味・得意なこと】
工作、ダンス、映画鑑賞、歌を歌うこと。

【みんなに言いたいこと】
イオンスーパーやユナイテッドシネマなどで見かけたなら声をかけてくださいね。



畠 可奈
(はたけ かな)

【通学・通所施設名
学年、年齢等】

豊橋特別支援学校
中学部 3年

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
動物が大好きです

【趣味・得意なこと】
キックボード

【みんなに言いたいこと】
いつか泳げたらいいなあ…。
1人で乗馬もできたらいいなあ…。



真弓 裕行
(まゆみ ひろゆき)

【通学・通所施設名
学年、年齢等】

療養病院 64歳

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
歌うことが好きでさくらピアの歌声サークルに参加しています。

【趣味・得意なこと】
歌うと体の力が抜けて笑顔になります。

【みんなに言いたいこと】
音やリズムにあわせると上手く歩行ができたり、自然と大きな声が出せたり、心が落ち着いたり音楽の力を実感しています。皆さんも好きな曲を歌ったり踊ったり、一緒にいかがでしょうか。



堀部 美香
(ほりべ みか)

【通学・通所施設名
学年、年齢等】

田原授産所 41歳

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
施設のしよくいんさんになること。

【趣味・得意なこと】
ジグソーパズルをやること
ペットに話をする事

【みんなに言いたいこと】
田原授産所での作業のミサンガあみや図書バックのポケットをほんぬいできるようミシンでぬっています。

<今後の主な行事予定>

- 9月13日 (水) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園
- 9月17日 (日) 野外訓練会・豊橋総合動植物公園 (募集は締め切りました)
- 9月30日 (日) さくらピア避難所体験・さくらピア
- 10月9日 (月祝) ウェルネス2017・豊橋市総合体育館
- 10月21日 (土) 愛肢連わいわいカーニバル・豊橋市総合体育館
- 10月29日 (日) 豊障連体育祭・さくらピア
- 11月12日 (日) ボランティアのつどい・さくらピア
- 11月15日 (水) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園
- 11月19日 (日) 豊障連文化祭・さくらピア
- 12月2日 (土) ○県心身協福祉大会・愛知県社会福祉会館
- 12月23日 (土祝) クリスマス会・あイトピア



○印の参加募集はありません

※予定は順次ご案内いたします

<あとがき>

・今回の表紙は、中村祐一さんの作品です。「久しぶりに筆をとって書いてみました。まずまずの出来栄で自慢の作品となりました。」とコメントをいただきました。力強い作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたく思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。相談先の電話番号は29年度の総会資料をご覧ください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードまたは図書券をプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みでも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話またはFAXかメールご連絡をお願いいたします。

TEL : 0532-23-3217 FAX : 0532-23-4830 E-mail : rsa34375@nifty.com